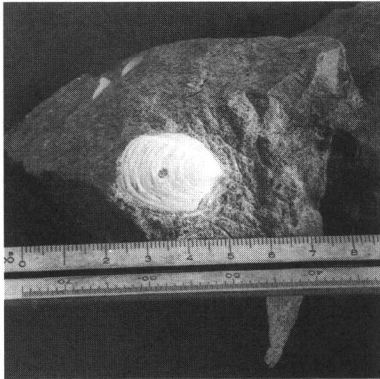
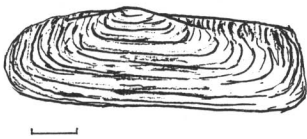


と②の組み合わせによる、というようにいくつかの考えがあります。



殻に穴があいている
貝化石

次に藤峠層から見つかる貝化石は次の通りです。



アゲマキガイ

殻は中くらいの横長で、殻頂は、前に寄り、前は円く、後ろはさい切状で、前後両端で開く。瀬戸内海より西の潮線下に棲む。



シジミガイ

小～中型、亜三角、同心円状の成長線がある。河川、河口、潟などの淡水、汽水域に棲む。

(4) フジツボ

約1億年前から現在まで続く^{せつそく}節足動物の仲間で、^{せつがい}石灰質の板状の殻をもっています。波打ち際から3500mの深い海底にまでおよび、岩や流木や^{ふなぞこ}船底やクジラなどに^{ふちやく}付着して生活します。

